

番号	1-1-1	表題	流出解析シミュレーションによる豪雨災害に対する下水道施設整備の効果検証	
内容	<p>東京都における豪雨対策は、東京都豪雨対策基本方針に基づき、過去の浸水被害や降雨特性などを踏まえて重点エリアを定め、河川・下水道の整備や雨水の流出を抑制する流域対策等を進めている。</p> <p>東京都下水道局では、東京 23 区全域で時間 50 ミリ降雨に対応することを基本とし、大規模地下街や甚大な被害が発生している地区については、1 時間 75 ミリ降雨に対応する等、早期に浸水被害を軽減するため、浸水の危険性が高い地区など 54 地区を重点化し、幹線や貯留施設の整備を進めており、これまでに 48 地区に着手し、このうち 25 地区で整備が完了するなど対策を着実に推進している。</p> <p>しかしながら、気候変動の影響による豪雨災害リスクの増加が指摘される中、1 時間 50 ミリを超える降雨が増加傾向にあり、豪雨対策のさらなる強化が求めている。</p> <p>本稿では、近年の豪雨災害の発生状況を踏まえた下水道施設整備の効果について流出解析シミュレーションを用いて検証したので報告する。</p>			
キーワード	東京都豪雨対策基本方針、浸水対策、流出解析シミュレーション、効果検証			
処理区名	-	位置区分	管きよ	
職種区分	土木	施策区分	浸水対策、再構築	
状態区分	調査 研究	新規性	想定最大規模降雨を条件とした流出解析シミュレーションを実施した結果、再構築を計画的に実施した場合は豪雨災害に対するリスクを大きく低減させる検証結果を得た。	
実施年度	令和 3 年度	全体期間	-	
担当部署	計画調整部計画課基本計画担当			
発表履歴	局内	-		
	局外	第 58 回下水道研究発表会		
調査方法	直営調査			
関連情報	-			